

よりよく生きる

人権教育強調期間（後期）では、2年生は、LGBTQについて学びました。今回、学んだ内容を紹介いたします。

【アイコンシャス・バイアスについて】

ある日、父親とその息子が車で出かけましたが……。途中で交通事故に遭ってしまいました。息子が運ばれた救急病院には、凄腕の外科医がいました。手術室に運びこまれてきた少年を見た外科医はこう言いました。

「この少年は私の息子です！」

医者と息子の関係は？



凄腕の医者が男の人だとは、一言も言っていません。なぜ、男の人だと思ったのでしょうか。こうした無意識の思い込みを、アンコンシャス・バイアスと言います。

【性的マイノリティとは】

マイノリティとは、少数者という意味です。「性的マイノリティ」は、性の視点から見たときの少数者という意味になります。

私たちは、世の中には男性と女性がいて、人は異性を愛するのが当然だと思ってきました。しかし、性はそんなに単純なものではありません。

性的マイノリティの基礎知識を学ぶために、性を考えるときの、「三つの視点」があります。それは、「体の性」「心の性」「性的思考」の三つです。

「体の性」…体が男であるか女であるか

「心の性」…心が男であるか女であるか

「性的指向」…好きになる性が異性であるか同性であるか

この3つの視点を組み合わせただけでも、性は27通りに別れます。



【LGBTQについて】

L: レズビアン（心の性と性的指向が女性の同性愛者）

G: ゲイ（心の性と性的指向が男性の同性愛者）

B: バイセクシュアル（性的指向が両性の人）

T: トランスジェンダー（体の性と心の性が一致しないという違和感をもつ人）

Q: クエスチョニングまたはクィア（性的指向や性自認が明確でない人）

自分が当事者であると打ち明けることを、カミングアウトと言います。カミングアウトをされた方は、悩みながらも勇気を持って伝えているのではないかと思います。私たちがカミングアウトを受けたとき、「話してくれてありがとう」「何かできることある？」「一緒に考えよう」といった温かい言葉を掛けて、からかったり、否定したり、決めつけたり、笑ったりするような態度は慎まなければなりません。いろいろな性的指向を持つ方の考え方を理解し、寄り添い、そして共生社会を実現していきたいものです。